GCI

2020 Interim Business Report

第104期 中間報告書

2020年4月1日～2020年9月30日

群栄化学工業株式会社

証券コード：4229

01 トップインタビュー

03 連結決算ハイライト

06 CSRへの取り組み

05 ニュース&トピックス

新たな価値を生み出し、グローバルに提供することで、より豊かな未来社会創りに貢献します。

代表取締役　社長執行役員
有田　喜一郎

Q 上期の営業状況とコロナ禍への対応をご説明願います。

A 上期の営業状況は、全般的に新型コロナウイルス感染症の拡大による影響を大きく受けました。

化学品事業は、感染症の拡大が住宅着工件数の減少や建設工事の延期・中止を招いたことで、建築資材向け樹脂が低調に推移し、顧客の稼働率低下により自動車関連及び建設機械向け樹脂も減少しました。一方、電子材料向け樹脂は、テレワークの拡大が、半導体・電子部品の需要増加につながり、引き続き成長を維持しましたが、化学品事業全体の減収をカバーするには至りませんでした。また、タイ、インド及び米国で展開する海外事業は、現地におけるコロナ禍の影響が日本国内以上に大きく、移動制限などによる経済活動の停滞が続いたことから、いずれも減収となりました。

食品事業は、在宅消費の拡大を受け、酒類向け製品が増加したものの、外出自粛やイベントの開催中止などによる清涼飲料向け製品の減少が響き、減収となりました。

以上により上期の連結業績は、売上高122億56百万円（前年同期比10.1％減）、営業利益9億70百万円（同9.2％減）、経常利益10億68百万円（同8.1％減）、親会社株主に帰属する四半期純利益7億16百万円（同10.8％減）となりました。

社内では感染防止に万全を期したうえで、従来通り製品の生産・供給体制を維持するとともに、営業及び事務・管理部門においてはWeb会議システムを利用したリモート化や在宅勤務制度などを積極的に活用することで事業の継続に努めております。また、海外子会社との拠点間コミュニケーションにもWeb会議システムを活

用し、経営会議や取締役会、開発ミーティングをオンラインで開催している他、人事部門では採用面接の一部をWeb会議システム経由で行っています。

このようにコロナ禍への対応は、当社の事業活動に多くの制約を与えていますが、その一方で、営業手法の見直しや働き方改革の実践、社内業務の効率化などを促進している面もあります。引き続きこれらの対応によるメリットを活かし、新しい時代に向けた変革として社内に定着させたいと考えています。

Q 成長に向けてどのような取り組みを進めていますか？

A 当社は現在、食品事業のさらなる成長機会を獲得し、収益性を高めるため、糖化技術を活用した機能性食品分野への展開を図っています。その一環として当期は、当社の酵素糖化技術で実現した、オーツ麦による植物性ミルク“オーツミルクの素”を発表しました（p5ご参照）。また水溶性レジストの原料に糖を活用する取り組みなど、糖の構造を基盤とする新たな製品開発を推進し、将来に向けて応用範囲を拡大していく方針です。

化学品事業は、社会のデジタル化による産業構造の変化を捉えた、新しいソリューションの提供が成長のカギとなります。特に注力分野と位置付ける電子材料向け素材では、高集積化や低メタル化などの最先端ニーズに対応すべく、技術開発の強化と生産体制の拡充を進めています。足もとでは、5G通信のサービス開始とスマートフォンの新機種発売に伴い、電子材料向け素材の需要が拡大しています。これを取りこぼすことなく確保しつつ、製造工程をしっかりと管理し、品質と供給力で顧客の信頼を獲得していきます。

Q SDGsテーマへの対応状況はいかがですか？

A 当社は「SDGsロードマップ策定委員会」を設置し、持続可能な社会の実現に貢献すべく、事業活動にかかわる重点課題を定め、中長期的な取り組みを行っています。

特に「地球環境の保護」については、重点課題の筆頭とし、継続的な省エネ活動の展開と環境配慮型製品の開発に注力しています。昨年リノベーションした群馬工場管理棟は、建物の断熱化など環境性能を高めており、その他にも工場敷地内の緑化やCO_2排出量削減、廃液処理の改善など、グループを挙げて環境対応を強化しています。また、「地域との共存」については、工場敷地内の緑化に関し、当社群馬エリアが経済産業省「全国みどりの工場大賞（日本緑化センター会長賞）」を受賞したほか、タイの子会社もタイ工業団地当局（IEAT）から「グリーンスター賞」を受賞いたしました。引き続き環境負荷低減活動に取り組んでまいります。

なお、従業員への取り組みでは「健康と福祉」「教育」「ジェンダー平等」「働きがい」などを重点課題として、業務を通じた教育や語学研修、心と身体の健康維持、職場環境の改善に努めています。

従業員施策については「健康経営優良法人2020（大規模法人部門）」の認定を受けるなど、取り組みに対する外部評価も高まっています。

Q 通期業績の見通しと配当についてお聞かせください。

A 新型コロナウイルス感染症の世界的な拡大は、未だ終息の見通しが立たず、予断を許さない状況にあります。しかし各国の経済活動は回復に向かっており、当社の事業環境においても、電子材料向け樹脂の堅調な動きとともに、自動車関連向けをはじめ、その他用途向け樹脂の需要減少も底打ちし、徐々に上向いていくものと思われます。

こうした状況を踏まえ、通期業績予想は、売上高246億円（前期比8.8%減）、営業利益13億円（同32.9%減）、経常利益15億円（同30.0%減）、親会社株主に帰属する当期純利益11億円（同19.7%減）を見込んでいます。今回の中間配当は、1株当たり40円とさせていただきました。期末配当も同40円を予定しており、年間配当額は同80円（前期同額）となる見通しです。通期業績の減収・減益が予想されるものの、安定的な配当を実施させていただくものです。

企業理念「化学の知識とアイディアでソリューションを提供し、より豊かな未来社会創りに貢献する」のもと、私たちはもっと新しく、もっと役に立つ製品を生み出し続け、それをグローバルに提供していくことで、自らの企業価値を高めるとともに、株主の皆様への利益還元を一層充実させることを目指してまいります。

株主の皆様におかれましては、これからも長きにわたりご支援を賜りますようお願い申し上げます。

連結決算ハイライト（当中間期の業績）

売上高
12,256百万円
（前年同期比10.1％減）

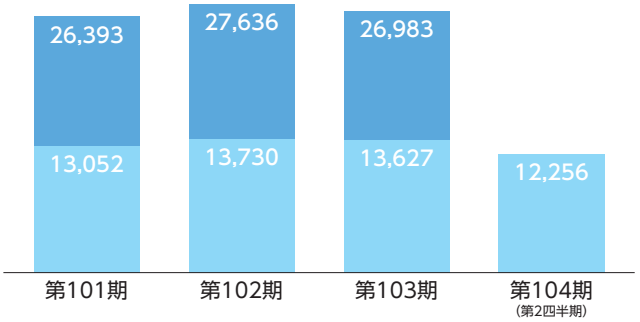
経常利益
1,068百万円
（前年同期比8.1％減）

親会社株主に帰属する四半期純利益
716百万円
（前年同期比10.8％減）

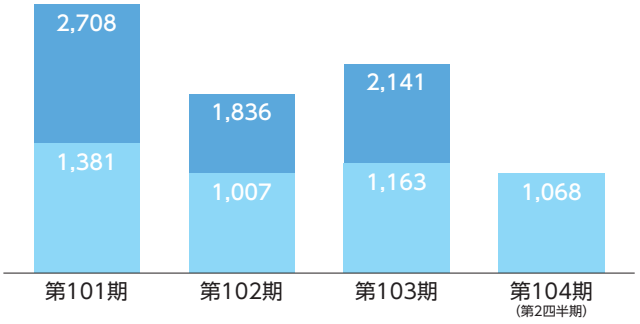
業績のポイント

IT技術を活用した働き方改革や積極的な業務改善、市場、顧客ニーズの探索や当社グループの技術を活かした提案型営業活動の強化に努めたものの、新型コロナウイルスの影響を受け、減収・減益。

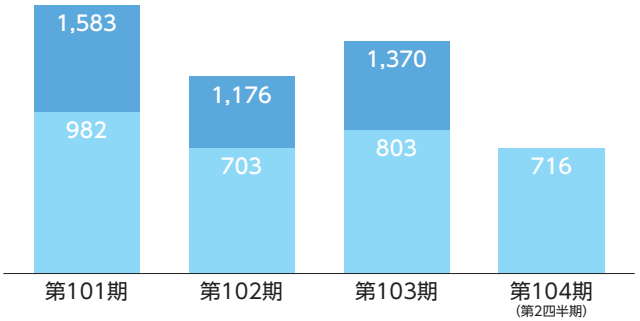
売上高 （単位：百万円）



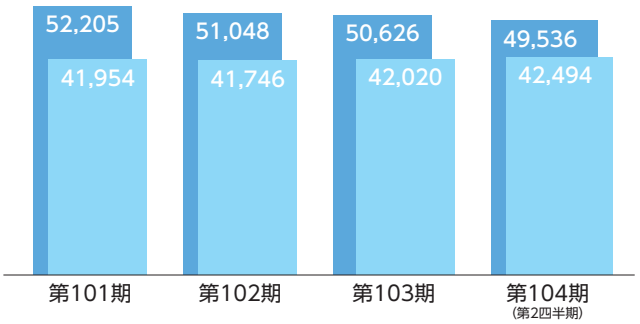
経常利益 （単位：百万円）



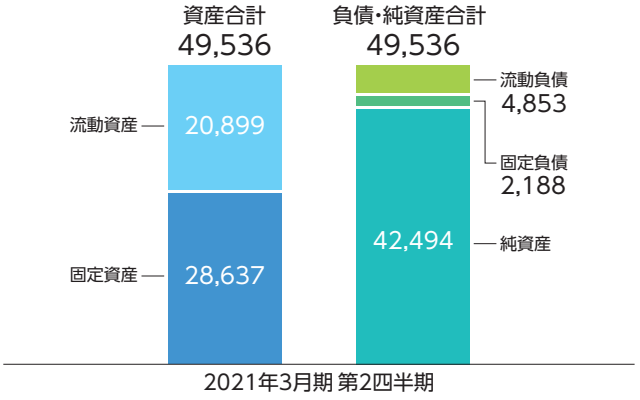
親会社株主に帰属する四半期（当期）純利益 （単位：百万円）



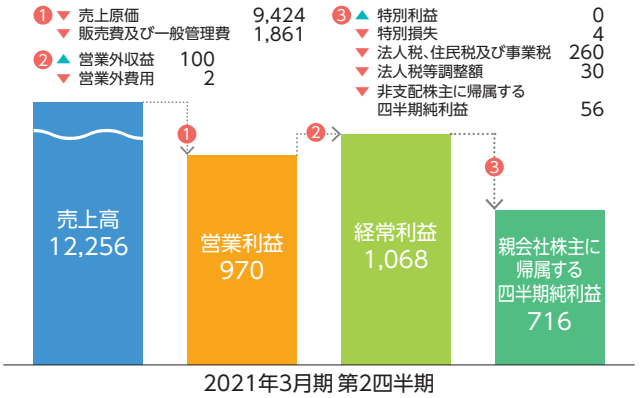
総資産 ■ 純資産 ■ （単位：百万円）



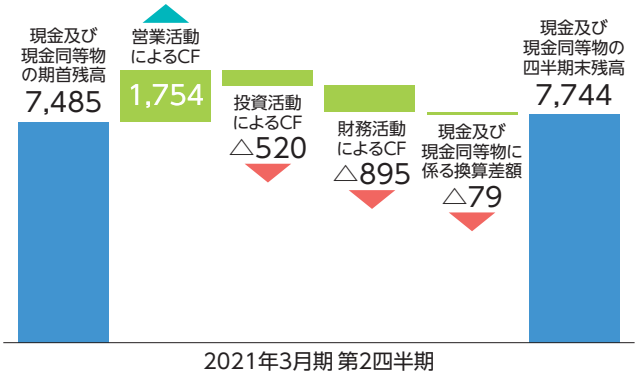
上半期連結貸借対照表の概要 （単位：百万円）



上半期連結損益計算書の概要 （単位：百万円）



上半期連結キャッシュ・フロー計算書の概要 （単位：百万円）



最新・詳細情報につきましては当社のIRサイトをご覧ください。
https://www.gunei-chemical.co.jp

化学品事業

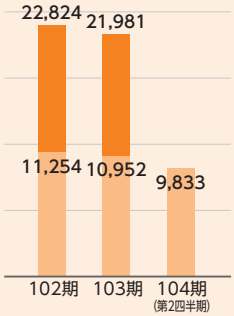
合成樹脂・高機能繊維の製造及び販売

▶世界的なテレワーク等の拡大が電子材料向けの需要増加につながるものの、その他用途向けは低調に推移

売上高 9,833百万円
（前年同期比10.2%減）

営業利益 877百万円
（前年同期比17.0%減）

売上高 （単位：百万円）
■第2四半期累計（中間） ■通期



■高機能繊維「カイノール」

「フェノール樹脂」を繊維にした高機能繊維「カイノール」は、宇宙開発の研究から生まれ、当社が世界で唯一製造・販売しています。
防炎性、耐熱性、断熱性、耐薬品性などの特長を有し、防炎・安全用途や各種複合材に用いられるほか、活性炭繊維の優れた吸着性は溶剤回収用途等の環境調和分野にも使用されています。

当社の主要製品

■工業用フェノール樹脂「レヂトップ」

電子半導体材料・自動車産業・住宅産業などあらゆる産業分野に不可欠な機能材料として使用されています。

主な用途

電子材料産業においては、シリコンウェハーに回路を形成する際に用いられるフォトレジストインクや半導体封止剤などに「フェノール樹脂」が活用されています。
自動車等の各種鋳物産業においては、鋳物の鋳造に使われる砂型のバインダとして、「フェノール樹脂」は鋳造業界で欠かせない存在となっています。
住宅産業においては、ガラス繊維に「フェノール樹脂」を吹き付けてできる繊維マットが断熱・防音材として用いられるなど、住宅の施工に広く使われています。

■3Dプリンタ用材料

3Dプリンタは世界各国で国家プロジェクトにより活発な開発が進められており、当社は、日本の国家プロジェクト（2013年から2018年）に参画しました。鋳物業界で長年培ってきた当社の技術は鋳造用バインダ用途に活用されています。また、高耐熱プラスチック材料製品を自社開発し、製造販売及び成形品の提案も行っています。

食品事業

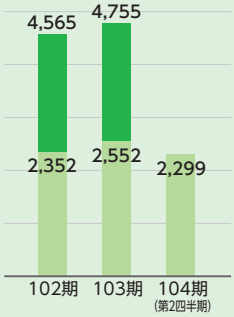
でんぷん糖類の製造及び販売

▶巣ごもり消費の拡大により酒類向けは増加したものの、イベントの開催中止等の影響を受け低調に推移

売上高 2,299百万円
（前年同期比9.9%減）

営業利益 9百万円
（前年同期比 － ）

売上高 （単位：百万円）
■第2四半期累計（中間） ■通期



■保水性糖質素材「ピュアトース®」

「ピュアトース®」は、主成分であるマルトトリオースが水を保持しやすい構造をしており、このため食品中の水を安定化させます。その結果、和菓子や洋菓子に対し、しっとり感を付与し、でんぷんが老化して硬くなる現象を抑制し、素材の風味を向上させることができます。現在、本品はこれらの用途で幅広く利用されています。

当社の主要製品

■スリーシュガー（JAS果糖ぶどう糖液糖／JASぶどう糖果糖液糖）

JAS果糖ぶどう糖液糖（果糖分55%）、JASぶどう糖果糖液糖（果糖分42%）、そしてこれらに砂糖を混合した異性化液糖製品があります。砂糖よりさわやかで保湿性も高く、食品を新鮮に保つことができます。また、冷たいほど甘味が強くなるので、清涼飲料や冷菓に最適です。

■コーソグル群栄（JAS精製ぶどう糖）

JASの基準に合致した、高品質、高純度のぶどう糖です。砂糖や果糖とも相性よくとけあい、栄養価が高く、直接体内に吸収されるため、すぐれたエネルギー源となります。各種菓子類をはじめ、水産練製品、酒類、医薬品など、幅広くご使用いただけます。

■酵素水飴

当社独自の技術で製造された水飴は、ほどよい甘みと独特の粘りが特徴で、菓子などのテリ、ツヤ、コクを出すのに最適です。見た目のおいしさがアップするだけでなく、菓子類の日持ちをよくします。

■グンエイオリゴS

単糖が数個結びついたオリゴ糖は、人間の消化酵素ではこの結合を切ることができないために大腸に到達し、代表的な善玉菌のビフィズス菌の増殖を助けます。当社のイソマルトオリゴ糖は、こうした生理効果を有しながら、うま味、コク味をもち、健康ニーズにお応えしています。

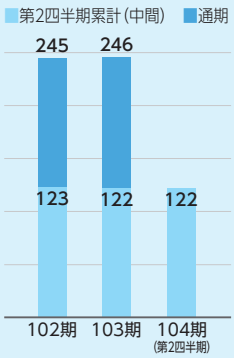
不動産活用業

▶前年同期並みで堅調に推移

売上高 122百万円
（前年同期比0.1%増）

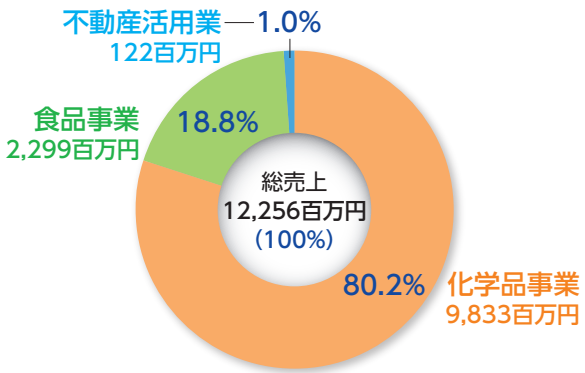
営業利益 84百万円
（前年同期比2.5%増）

売上高 （単位：百万円）
■第2四半期累計（中間） ■通期



事業別売上高構成（連結）

2020年4月1日 ～ 2020年9月30日



5G対応の樹脂開発と展開

５Gとは第５世代移動通信システムの略称で、携帯電話などの通信に用いられる次世代通信規格のひとつです。世代を表すGenerationの頭文字のGをとって、５Gと呼ばれています。この５Gの登場により、「より速く、よりリアルに、よりたくさんのモノと」データ通信を行うことができるようになり、私たちの生活やビジネスは今まで以上に便利になることが期待されます。

5G通信で使用する電子機器の各部材や原料には、通信速度低遅延化や電気信号の低減衰化のため、①低誘電率（静電エネルギーを蓄えにくい、絶縁性が高い）、②低誘電正接（電気エネルギーが熱エネルギーとして損失されにくい）という特性が求められます。また併せて、③基盤のはんだ付け工程（はんだリフロー）に耐えられる耐熱性が求められます。当社では、上記①～③の要求に対応した、低誘電特性・高耐熱性を有するポリマーを独自開発いたしました。今後は、国内外のメーカーに積極的に提案を行い、拡販に努めてまいります。また並行して電子材料用途に限らず幅広い応用展開にも取り組んでまいります。

“オーツミルクの素”市場投入

近年世界中で注目を集めているプラントベースミルク（豆乳をはじめとした植物性ミルク。牛乳などの動物性ミルクに比べ、CO_2削減の観点から有効とされ、海外で伸び始めています。）。当社では、永年培ってきた酵素糖化技術によって、オーツ麦をまるごと糖化した“オーツミルクの素”（オーツミルクの原料）を市場に投入いたします。

本製品は、食品に関する国内大規模展示会である食品開発展2020（11月16日～18日開催）、第５回ドリンクジャパン（11月25日～27日開催）での発表を皮切りに、環境に配慮した健康訴求製品として食品メーカーへ展開してまいります。

独自技術により、オーツ麦をまるごと糖化！
体に良い栄養素をそのままに！

《群栄化学の“オーツミルクの素”の３つの特徴》

1. 豊富な食物繊維（不溶性・水溶性を含有）
2. イソマルトオリゴ糖含有（砂糖不使用・加糖なし）
3. アレルゲン28品目非該当

トピックス

健康経営優良法人2020（大規模法人部門）認定

このたび当社は、経済産業省と日本健康会議が進める健康経営優良法人認定制度において、健康経営優良法人2020（大規模法人部門）の認定を受けました。当社では、従業員が「やる気」「働きがい」を持って能力を存分に発揮し豊かな生活を送れるよう、今後も従業員の「からだ」と「こころ」の健康向上に努めてまいります。

2020
健康経営優良法人
Health and productivity

GCIグループのSDGs

わたしたちGCIグループは、SDGsの目標達成に貢献するべく、重点課題を設定しこれに取り組んでおります。

重点課題 1 地球環境の保護

私たちが住む地球は生命の根源です。
3R (Reduce、Reuse、Recycle) 活動の実践により、地球温暖化対策を含んだ循環型社会の実現へ向けて活動します。 『GCIグループステークホルダー方針』より

<継続的な省エネ活動の展開>

5年連続で省エネ優良事業者認定

当社では、地球温暖化防止への取り組みとして省エネ法に基づきエネルギー使用量の削減活動を継続して行っています。
この継続的な活動が評価され、経済産業省の『事業者クラス分け評価制度』において、優良な省エネ活動を行う事業者に与えられるSクラス認定を5年連続で受けることができました。

<環境配慮型製品の開発>

持続可能な新技術開発への取り組み

SDGsへの取り組みの一環として、当社では「環境配慮型製品の開発」を推進するとともに、将来を見据え、大学など外部機関との共同研究を通じた「持続可能な新材料開発」にも力を入れています。本年度に入り、富山県立大学と共同で「糖の骨格をベースとした水溶性フォトレジスト材料」技術に関する論文を発表しました。本材料は回路等の微細なパターン成形時に石油由来の溶剤に依存しない露光プロセスを実現する先端技術であり、当社ではこうしたグリーンケミストリーの新技術開発にも積極的に取り組んでおります。

重点課題 2 地域との共存

地域社会はGCIグループの事業基盤です。地域との関わりを大切にしてその発展に貢献します。 『GCIグループステークホルダー方針』より

高崎市において市民団体・事業者・行政などの間で協働関係の構築・向上を目指す『たかさき環境パートナーシップ会議』、並びに群馬県におけるSDGsの普及への寄与を目的とする『SDGsぐんま連絡会議』への参加に続き、内閣府が提唱する『地方創生SDGs官民連携プラットフォーム』の会員となりました。
SDGsの達成には地方自治体・地域の企業・研究機関など多様なステークホルダーとの連携、特に官民連携が必要不可欠という認識のもと、SDGsを共通言語とした地方創生推進と課題解決を目的とする当該プラットフォームを通じてパートナーシップの翼を広げてまいります。

地方創生SDGs官民連携プラットフォーム
私たちは持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。

全国みどりの工場大賞 受賞

このたび経済産業省主催にて工場緑化に顕著な功績のあった工場に対して贈られる『全国みどりの工場大賞(日本緑化センター会長賞)』の表彰を受けました。当社では今後も敷地内の緑化を通じた環境負荷低減活動に力を入れてまいります。

全国みどりの工場大賞
Natioanl Award for Greenery Factory

Thai GCI グリーンスター賞 受賞

タイ子会社「Thai GCI Resitop Company Limited」においても、日々の環境汚染対策活動が高く評価され、マプタプット地域のタイ工業団地当局(IEAT)から『グリーンスター賞』を受賞しました。

引き続き、GCIグループ全体で地域との共存並びに環境負荷低減活動に取り組んでまいります。

会社情報 Corporate Data

(2020年9月30日現在)

会社の概要

商号	群栄化学工業株式会社 Gun Ei Chemical Industry Co. , Ltd.
設立	1946年１月23日
資本金	50億円
従業員数	483名 (連結)

役　員

代表取締役会長	有田　喜一	常勤監査役	瀧井　康雄
代表取締役 社長執行役員	有田　喜一郎	監査役	二宮　茂明
取締役	湯浅　快哉	監査役	大西　勉
取締役	岩淵　滋		
取締役	田村　正明		

(注) 取締役 岩淵滋、田村正明の両氏は社外取締役であります。
監査役 二宮茂明、大西勉の両氏は社外監査役であります。

株式情報 Stock Information

(2020年9月30日現在)

株式の状況

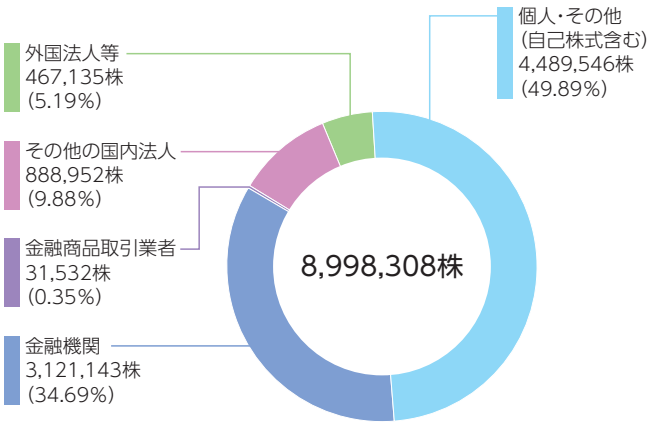
発行可能株式総数	17,621,100株
発行済株式総数	8,998,308株
株主総数	5,170名

大株主

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
株式会社日本カストディ銀行 (三井住友信託銀行再信託分・ 三井化学株式会社退職給付信託口)	578,500	8.73
群栄化学取引先持株会	519,942	7.84
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	465,700	7.03
株式会社群馬銀行	304,512	4.59
株式会社横浜銀行	245,853	3.71
三菱UFJ信託銀行株式会社	232,700	3.51
東京応化工業株式会社	168,330	2.54
株式会社みずほ銀行	160,537	2.42
株式会社三井住友銀行	158,407	2.39
日本生命保険相互会社	157,289	2.37

(注)持株比率は、自己株式(2,369,349株)を控除して計算し、小数点第3位を四捨五入しております。

所有者別株式分布状況(株式数)



(注)持株比率は、小数点第3位を四捨五入しております。

株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日
期末配当金受領株主確定日	3月31日
中間配当金受領株主確定日	9月30日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社　証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 電話0120-232-711（通話料無料） 郵送先 〒137-8081　新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社　証券代行部
上場証券取引所	東京証券取引所
公告方法	電子公告　URL https://www.gunei-chemical.co.jp ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載
幹事証券	野村證券株式会社 みずほ証券株式会社 SMBC日興証券株式会社

(お知らせ)

1 ご注意

(1)株主様の住所変更、配当金の振込みのご指定、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。

(2)特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、特別口座の口座管理機関である三菱UFJ信託銀行にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店においてもお取次ぎいたします。

(3)未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

2 中間配当金計算書について

同封いたしております「中間配当金計算書」は、租税特別措置法の規定に基づき作成する「支払通知書」を兼ねております。
なお、配当金を証券口座でお受取り(株式数比例配分方式)の株主様は、お取引のある証券会社へご確認ください。

3 マイナンバーのお届出について

2016年1月より利用開始されたマイナンバーですが、こちらは株式の税務関係手続きでも必要となります。このため、株主様はお取引の証券会社等へマイナンバーのお届出をお願いいたします。

【株主様のマイナンバーの利用用途】
税務署に提出する支払調書（※）への記載
※配当金等に関する支払調書
　単元未満株式の買取請求など株式の譲渡取引に関する支払調書

【マイナンバーのお届出に関するお問い合わせ先】

●証券口座にて株式を管理されている株主様
お取引の証券会社までお問い合わせください。

●証券会社とのお取引がない株主様
三菱UFJ信託銀行株式会社　証券代行部
0120-232-711（通話料無料）

群栄化学工業株式会社
〒370-0032
群馬県高崎市宿大類町700番地
電話(027)353-1818(代表)
https://www.gunei-chemical.co.jp

UD FONT

FSC ミックス 責任ある木質資源を使用した紙 FSC® C022915

VEGETABLE OIL INK

環境保全のため、FSC®認証紙と植物油インキを使用して印刷しています。